



**MORIOKA**  
ROTARY CLUB WEEKLY



第14回例会(10月23日)  
令和2年11月6日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10  
川徳デパート内  
例 会 場 同上 TEL 019 (651) 1111(代)  
例 会 日 毎週金曜日12時30分～  
<https://www.morioka-rc.jp/>

会 長 米内 正  
幹 事 大平 騰一  
会 報 佐藤 仁志  
クラブ事務局 TEL 019 (653) 5682  
FAX 019 (653) 5622

RI会長テーマ Rotary Opens Opportunities:ロータリーは機会の扉を開く…ホルガー・クナーク  
盛岡RC会長テーマ 奉仕の輪を拡げ困難を乗り越えよう 米内 正



ゲスト卓話

## 新しい盛岡バスセンター (ローカルハブとマザリウム)

盛岡ローカルハブ(株) 代表取締役社長

佐藤光彦 様

### ●スピーカー紹介●

昭和27年 岩手県盛岡市生まれ  
昭和50年3月 岩手大学農学部 卒業  
昭和50年4月 盛岡市採用  
平成18年11月 同 商工観光部長  
平成22年4月 同 市長公室長  
平成24年3月 同 退職  
平成24年4月 盛岡市副市長  
平成30年3月 退任  
平成30年7月 (株)盛岡地域交流センター取締役副社長  
令和2年7月 盛岡ローカルハブ(株)代表取締役社長

### 1. 地域を一つの会社に見立てて

老朽化が進む盛岡バスセンター整備については、盛岡市中心市街地活性化基本計画に民間事業として位置付けられていたが、諸事情により50余年の歴史を刻んだバスセンターは閉鎖され、取り壊しとなった。市は、新たなバスセンター整備に向け、跡地を取得した。また、市ではバスセンター運営について、事前調査し、公民連携事業として成立するとの結果を得て、弊社(株)盛岡地域交流センター)を市の代理人に指名いただき、一体となって新しいバスセンターの整備を目指すこととなった。弊社は第3セクターであり、企業理念の一つとして「様々な交流する場を提供し、地域社会の活性化に貢献する」ことを掲げていることや公共施設と民間収益施設の合築施設であるマリオスの事業実績などから、公民連携のパートナーとして指名いただいた。

### 2. “公民連携”の事業

バスセンター閉鎖後、河南地区では、商業施設になくが閉店し、大きな影響を受けることとなった。地域では、盛岡バスセンター再整備までの間、地域活性化事業用地(盛岡バスセンター跡地)の公益事業を中心とした活用、周辺地区の活性化を協議し、実施することを目的に、盛岡バスセンターおよび周辺地区活性化協議会を組織した。メンバー(敬称略)は、盛岡バスセンターの機能継続を求める会、盛岡市肴町商店街振興組合、盛岡市肴町商店街振興組合青年部(4S会)、もりおか八幡界隈まちづくりの会、紺屋町かいわい街並み協議会、盛岡劇場界隈まちづくり推進会、もりおかワカものプロジェクトであり、SIDE-B

として多彩な活動が展開された。7月22日には、当協議会、中ノ橋通一丁目地区市街地再開発準備組合、(株)岩手銀行、盛岡ローカルハブ(株)等の主催で第1回河南地区まちづくりシンポジウムが盛岡劇場で開催され、WEB配信も行われた。この盛岡ローカルハブ(株)は、バスセンターの整備運営を行うために、今年7月1日に(株)盛岡地域交流センターが100%出資して設立したSPC(特別目的会社)である。バスターミナル及び関連部分は市の管轄であり、ローカルハブはテナントリーシング等賑わい部分を担当するが、工事はローカルハブが一体的に行うものである。盛岡バスセンター整備により、中心部と周辺地域がバスで繋がり、周辺のローカルな魅力にあふれる生産物や観光情報が集まるローカルハブを目指したい。

公民連携事業は、岩手県においては、3例目となるものであり、まだその手法に習熟している人は少なく、成功例として全国からの視察が絶えない紫波の(株)オガール代表取締役の岡崎様をアドバイザーとして委嘱した。

### 3. 新しいバスセンターの概要

バスセンターは3階建てで、昔のバスセンターの趣を残すものとなっている。内部には市産材を活用し、また、外からもある程度建物内が見えるような設計となっている。

バスターミナルは、5バースとし、大屋根をかけ、バスは前から入り、前から出る設計となっている。高速バスの発着については、協議中である。

テナントについては、予定者であるが、1階には(アレバール周辺)、バス乗場、待合室、券売窓口、そば処南部様を予定している。十字路に面

する中央部分には、福田パン様、TheBAKER様、Alive様、あさひ堂様、キートスファーム様、レストランろーりえ様、繁田園様が出店する予定である。

2階には、子育て支援施設、岩手県交通様、岩手県北バス様の休憩所、ワインレストランTAKU様、中桜飯店様、シズクイシソウルキッチン様、えびすけ食堂様が出店予定である。

3階はホテル、温浴施設、屋上広場、ラウンジ、いんベクリーニング様のほか、リラクゼーション施設を予定している。ここは、パブリックスペースとして、イベント、セミナー、各種展示等に活用し、様々な交流から新たな価値が生まれる場としたい。なお、店舗デザインについては、東京駅グランドスタ開発アドバイザーなどを歴任し、日経MJに記事掲載中の商い創造研究所の代表取締役である松本大地様のアドバイスをいただいた。松本氏には、入居予定の皆様の現場を訪問したうえで、店舗づくりの参考提案をしていただいた。

ホテルは46室を予定しており、ライフスタイルホテルとして運営する。その名のとおり、暮らすように泊まっていただき、ホテルの外にも出てまちを楽しんでいただくもので、そのための企画が

必要となる。10室程度は、絵画アートを活用した部屋としたい。ホテル運営にはオガール様のほか、障がい者アートの社会への実装に取り組む花巻市のヘラルボニー様との連携を予定している。

#### 4. 愛される「マザリウム」を目指し

盛岡バスセンターが立地する河南地区や盛岡バスセンターにつがる様々な地域のローカルな魅力「ヒト、モノ、コト」が結びつき、混じり合い、新たな価値、新たな消費、新たな暮らしが生まれる場所として、盛岡バスセンターとつながっている地域、人々の暮らしに貢献し、応援され、愛される施設（マザリウム：造語）を目指し、日々頑張っている。

地元で協議会を結成していただいた。思うのですが、肴町アーケードは高齢社会向きのロード。お風呂に入り、街を楽しんだり、人と人が結びついて楽しくワクワクする流れをつくりたい。

現在は設計協議が大詰めを迎えており、今後は、年内に工事をスタートさせ、2021年度中には供用開始の予定である。

以上、ご清聴ありがとうございました。

### 例会報告

第14回例会  
令和2年10月23日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司会 米内正会長
- ・ロータリーソング  
(手に手つないで)
- ・ゲスト 佐藤光彦様 (盛岡ローカルハブ(株) 代表取締役社長)
- ・会長報告 米内正会長
- ・誕生祝 鈴木博高君
- ・結婚祝 吉田幸一・柴田英貴君

- ・幹事報告 大平騰一幹事
- ・委員会報告

#### 【ニコニコBOX】

- ◆米内正君…昨日、NTT東日本の施設を30名の会員の方々と見学いたしました。
- (1) 神明町「とう道 (地下設備)」の見学
- (2) NTTの災害対策及び光インターネットサービスの状況をいただき、充実した職場訪問でした。NTT東日本岩手支店長、星伸寿さんに感謝を込めてニコニコします。
- ◆晴山和泰君…昨日の職場見学にニコニコ

です。NTT東日本岩手支店の神明町とう道を見学させていただきました。一般の方ではなかなか入れないと思いますが、まさに盛岡都市伝説のようなところで大変貴重な体験をさせていただきました。星会員に感謝いたします。来週の支店選定銘柄はNTTに決定です。

- メイクアップ  
Eクラブ=柴田君  
クラブ委員会=藤村(文)・藤村(吉)・星・金沢・中村・岡村・大泉・佐藤(仁)・杉山・土屋・上野・海野君

#### 出席報告

会員数/77名

出席数/48名

出席率/64%

前々回/82.43%



#### プログラムのお知らせ

- ・11月6日(金) ゲスト卓話 細越確太様 ((一社) 次世代漆協会 代表)
- 13日(金) 新入会員卓話 佐々木和俊会員
- 20日(金) 新入会員卓話 高橋一仁会員
- 27日(金) 新入会員卓話 和田俊文会員
- ・12月4日(金) 新入会員卓話 鈴木博高会員
- 11日(金) 年次総会  
会員卓話 畠山将樹・大泉勝嗣会員

「ロータリーの友」熟読のススメ(仮)

●本号編集担当/金沢 滋